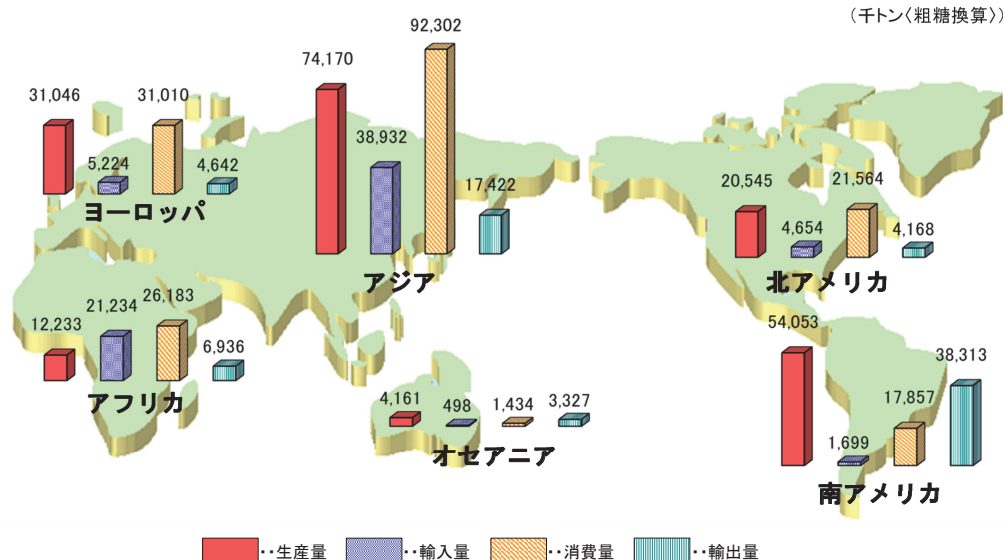




1 世界の砂糖需給（2025年12月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2025/26年度予測値）



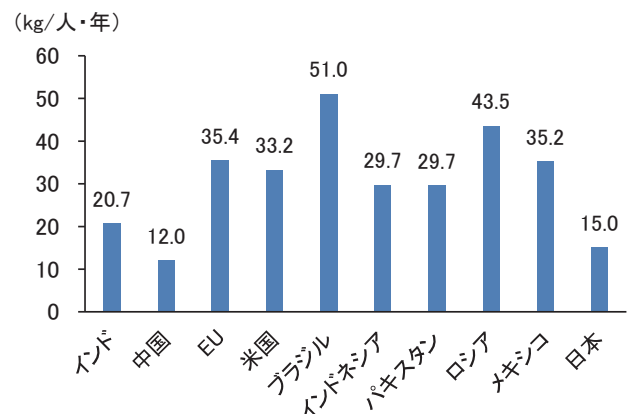
GlobalData UK Ltd.による2025年12月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2025/26砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9621万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比3.4%増）とやや増加が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第3位のEUで減産が見込まれている一方、同第2位のインドでは大幅な増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9035万トン（同0.0%減）と前年度並みが見込まれている。消費量第1位のインドや同第2位の中国では増加が見込まれている一方、同第3位のEUは前年度並み、米国およびブラジルでは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から1.8ポイント

増加し、45.4%と見込まれている。地域別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2025」
 注1：年度は、各国の砂糖年度。
 注2：EUには、英国を含む。
 注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン 〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1995/96	51,697	122,196	34,022	116,280	36,928	54,707	47.0
2000/01	70,442	131,428	38,492	130,890	41,455	68,017	52.0
2005/06	65,335	151,410	47,604	150,147	50,394	63,808	42.5
2010/11	60,007	167,303	54,416	165,435	58,614	57,676	34.9
2015/16	82,280	175,159	69,017	179,289	69,498	77,669	43.3
2020/21	89,141	181,966	67,399	185,968	68,101	84,436	45.4
2021/22	84,436	186,381	69,876	189,210	71,221	80,262	42.4
2022/23	80,262	190,661	71,244	190,748	71,418	80,001	41.9
2023/24	80,001	195,862	76,505	190,890	76,921	84,556	44.3
2024/25	84,556	189,792	73,009	190,398	73,908	83,052	43.6
2025/26 (2025年12月予測)	83,052	196,207	72,241	190,350	74,809	86,340	45.4

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2025」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

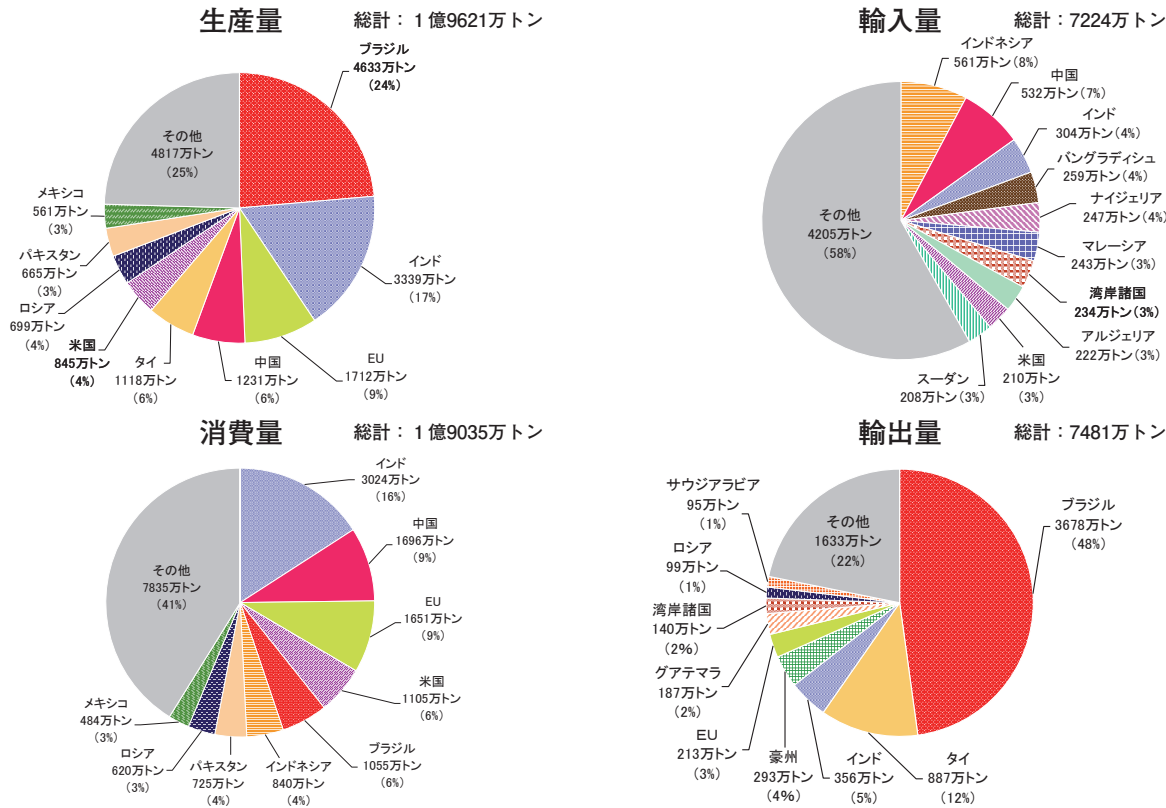
注2：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2025年12月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

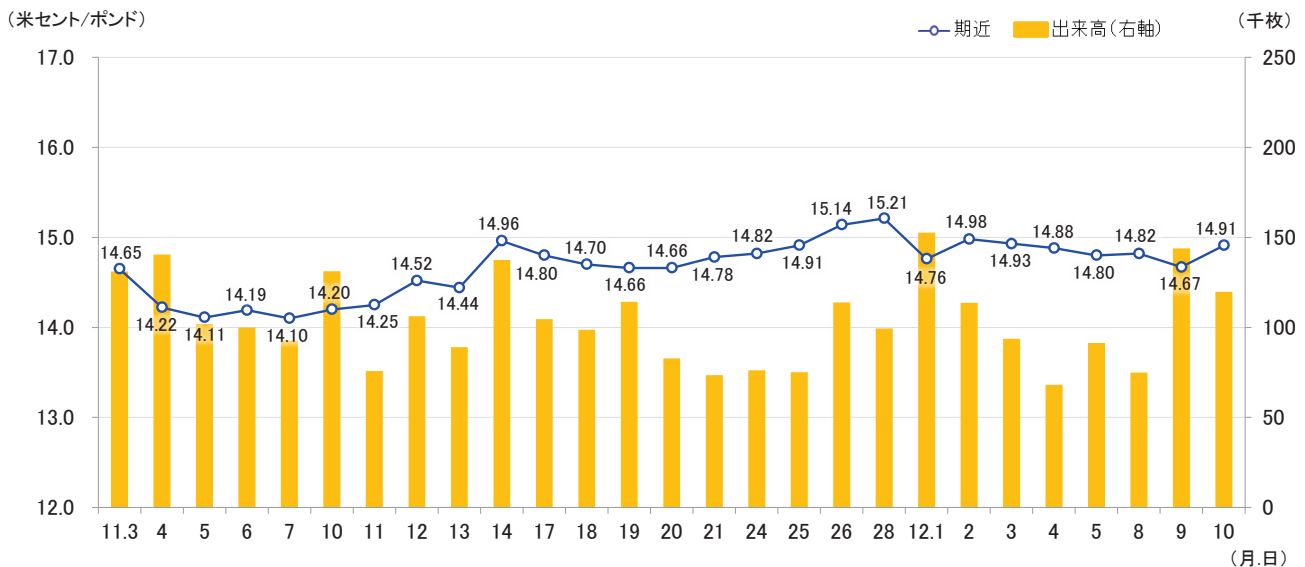
注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（11/3～12/10）

～インド産の輸出減少見通しなどから一時15セント台を記録するもその後再び14セント台に～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2025年11月のニューヨーク粗糖先物相場（3月限の推移を見ると、3日はショートポジション（注1）をカバーするための買い戻しにより、1ポンド当たり14.65セント（注2）と前取引日から上昇した。4日以降は25/26年度のブラジル産およびインド産の増産見通しから下落に転じ、7日は同14.10セントをつけた。10日以降はレアル高（注3）やインド産の輸出減少見通しにより上昇傾向となり、14日は同14.96セントとなった。17日以降は世界的な砂糖余剰予測を受けて再び下落したが、21日以降はレアル高やインド産の輸出減少見通しにより上昇傾向となり、28日は同15.21セントとなった。

12月に入ると、1日はインド産の砂糖増産見通しにより同14.76セントと再び14セント台まで値

を下げた。2日はEUのてん菜作付面積の縮小見通しから上昇したものの、3日以降はレアル安やインド産の増産見通しにより下落傾向となり、9日は同14.67セントをつけた。10日はドル安により同14.91セントと上昇した。

（注1）将来の値下がり期待して売りの持ち高を取っている状態。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年12月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し	
【サトウキビ】	【砂糖（甘しゅ糖）】
収穫面積：884万ha（前年度比0.0%減）	生産量：4633万トン（同1.8%減）
生産量：6億5150万トン（同4.0%減）	輸出量：3578万トン（同1.1%減）

2025/26年度の砂糖生産量および輸出量はわずかな減少を見込む

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、884万ヘクタール（前年度比0.0%減）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、前年度の火災や年初からの干ばつ傾向に加え、6月と7月に中南部で局所的に発生した霜害などの影響により、単収が前年度を下回るとの見通しから、6億5150万トン（同4.0%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、世界の砂糖相場の下落とエタノール価格の上昇により、サトウキビの砂糖への仕向け割合の低下が続くとの予測から、4633万トン（同1.8%減）とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、3578万トン（同1.1%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。現地報道によると、10月の砂糖輸出量は月間の輸出量としては過去最高の420万トンを達成した。

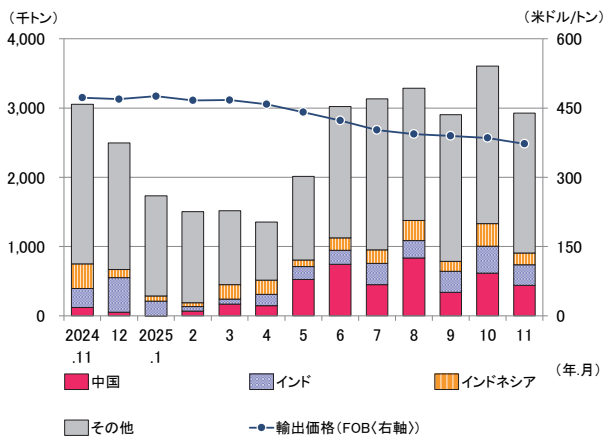
表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)						
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (11月予測)	2025/26 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,440	8,408	8,844	8,743	8,842	▲ 0.0
サトウキビ生産量	606,676	713,134	678,676	648,500	651,500	▲ 4.0
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,190	46,220	▲ 1.8
	輸入量	2	5	4	5	8.3
	消費量	10,924	10,965	10,751	10,751	▲ 1.9
	輸出量	28,888	37,393	36,176	35,466	▲ 1.1
	期末在庫量	2,233	3,200	3,467	3,474	0.2
	期末在庫率	5.6	6.6	7.4	7.5	0.1ポイント増

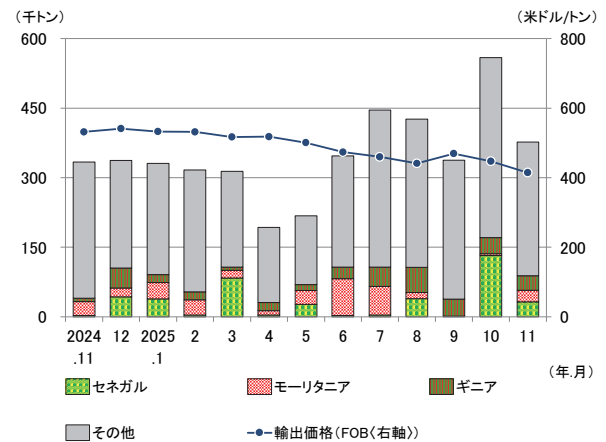
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



インド

2025/26年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 526万ha (前年度比0.3%増)
 生産量: 4億3481万トン (同11.5%増)

【砂糖 (甘しゃ糖)】

生産量: 3339万トン (同18.7%増)
 輸出量: 356万トン (同12.4%減)

2025/26年度の砂糖生産量は大幅な増加見込み

2025/26年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、526万ヘクタール (前年度比0.3%増) と前年度並みが見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、1) 2025年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2) マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的なものではないとの推測から、4億3481万トン (同11.5%増) とかなり大きな増加が見込まれている。

砂糖生産量は、主要生産州であるマハラシュトラ州やウッタル・プラデーシュ州のサトウキビ増産に

より、3339万トン (同18.7%増) と大幅な増加が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、356万トン (同12.4%減) とかなり大きな減少が見込まれている。同国政府は11月14日に25/26年度分として150万トンの砂糖輸出を許可^(注)したが、現地報道では、砂糖増産見込みと余剰在庫状況から、業界関係団体が追加で100万トンの輸出許可を同国政府に要請している。

(注) 詳細については、2025年11月26日付け海外情報「インド政府が150万トンの砂糖輸出を許可 (インド)」
 < https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004240.html > をご参照ください。



表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

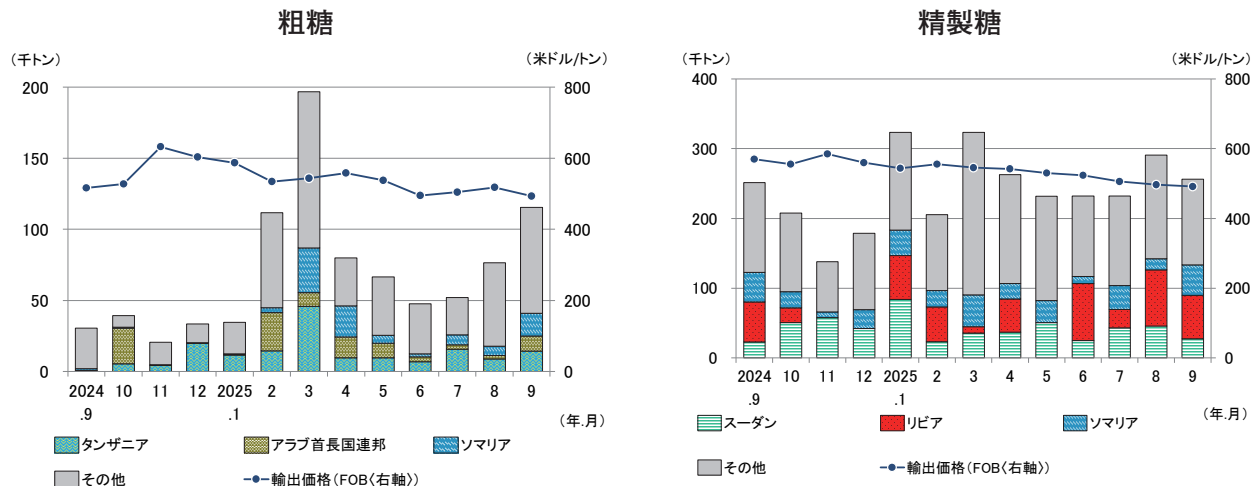
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (11月予測)	2025/26 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,441	5,544	5,243	5,272	5,259	0.3
サトウキビ生産量	455,898	443,707	389,847	436,069	434,807	11.5
砂糖	生産量	35,389	34,677	33,545	33,394	18.7
	輸入量	1,687	3,128	2,925	3,035	8.3
	消費量	30,078	31,093	29,970	30,780	0.9
	輸出量	8,646	4,384	4,068	3,453	▲ 12.4
	期末在庫量	6,286	8,614	5,510	7,745	47.7
	期末在庫率	16.2	24.3	16.2	22.6	7.9ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：121万ha（前年度比2.1%増）

生産量：7960万トン（同8.2%増）

【てん菜】

収穫面積：23万ha（同8.3%増）

生産量：1261万トン（同6.3%減）

【砂糖（甘しゃ糖およびてん菜糖）】

生産量：1231万トン（同2.0%増）

輸入量：532万トン（同17.8%減）

2025/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、競合作物よりも収益性が高いことから生産者が作付けを増加させたことで、121万ヘク

タール（前年度比2.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省での収穫開始が遅れているが、サトウキビの生育は良好であるため、7960万トン（同8.2%増）とかなりの程度増加が

見込まれている。

てん菜収穫面積は、競合作物の市場価格や需要低下により、生産者が作付けを増加させたことで23万ヘクタール（同8.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。てん菜生産量は、1261万トン（同6.3%減）とかなりの程度減少が見込まれているが、収穫が順調であることから前月予測から約160万トン上方修正している。

砂糖生産量は、てん菜の減産をサトウキビの増産

が補完することで1231万トン（同2.0%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の改善見通しから、532万トン（同17.8%減）と大幅な減少が見込まれている。しかし、世界の砂糖相場が下落し、国内産と関税割当枠外で輸入される砂糖との価格差が縮小する中、10月の粗糖輸入量は、71万トン（前年同月比42.7%増）と大幅に増加した。

表 中国の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (11月予測)	2025/26 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,102	1,095	1,180	1,230	1,205	2.1
サトウキビ生産量		62,595	73,132	73,537	79,490	79,601	8.2
てん菜収穫面積		182	167	216	210	234	8.3
てん菜生産量		8,719	9,377	13,460	10,979	12,610	▲ 6.3
砂糖	生産量	9,699	10,773	12,067	12,087	12,312	2.0
	輸入量	5,851	7,402	6,470	5,610	5,318	▲ 17.8
	消費量	16,578	16,740	16,924	17,172	16,956	0.2
	輸出量	201	179	170	149	149	▲ 12.1
	期末在庫量	14,193	15,449	16,893	17,275	17,417	3.1
	期末在庫率	84.6	91.3	98.8	99.7	101.8	3.0ポイント増

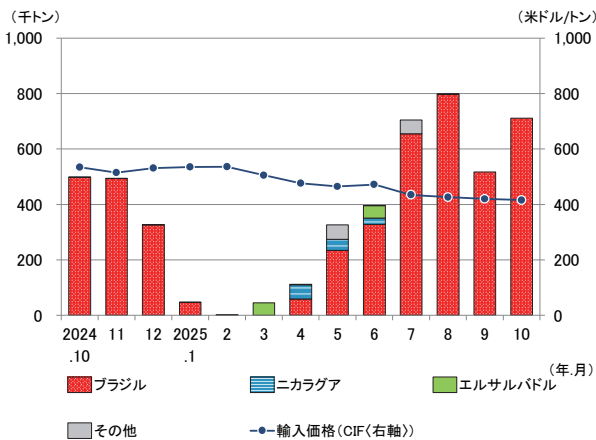
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移

粗糖



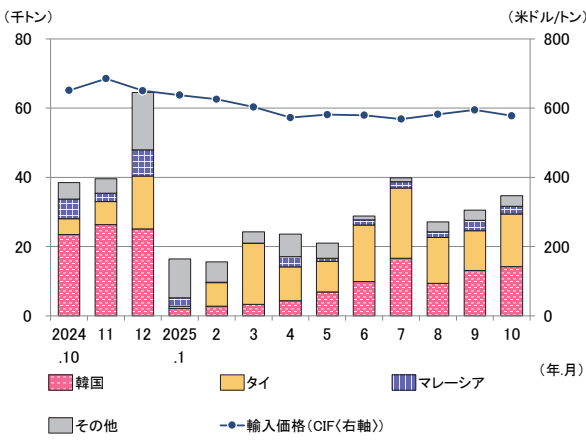
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2025年2月の粗糖輸入量は、千トン未満。

精製糖



E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：140万ha（前年度比10.7%減）

生産量：1億1286万トン（同3.1%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1712万トン（同1.1%減）

輸入量：185万トン（同23.4%増）

2025/26年度の砂糖輸入量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で減少が見込まれることから、140万ヘクタール（前年度比10.7%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスが単収の向上、ドイツが糖度の改善をそれぞれ見込んでいるものの、作付面積の減少により、1億1286万トン（同3.1%減）とやや減少が見込

まれている。

砂糖生産量は、てん菜生産量の減少見込みを背景に1712万トン（同1.1%減）とわずかな減少が見込まれているが、製糖はおおむね順調に進んでいる。砂糖輸入量は、EU域内の砂糖価格が下落する中、依然として無税枠を利用した砂糖輸入が可能な状況にあり、精製糖企業による相当量の輸入契約がすでに締結されていることが明らかになったことから、185万トン（同23.4%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

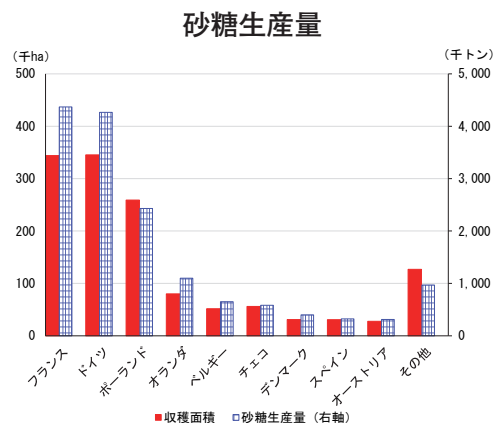
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (11月予測)	2025/26 (12月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積	1,398	1,447	1,569	1,405	1,401	▲ 10.7
てん菜生産量	99,760	109,898	116,458	112,295	112,857	▲ 3.1
砂糖	生産量	15,480	16,313	17,308	17,028	▲ 1.1
	輸入量	3,287	2,199	1,502	1,879	23.4
	消費量	17,271	16,375	16,512	16,454	0.0
	輸出量	899	2,087	2,088	2,183	1.8
	期末在庫量	1,909	1,959	2,169	2,710	15.3
	期末在庫率	10.5	10.6	11.7	14.5	1.8ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

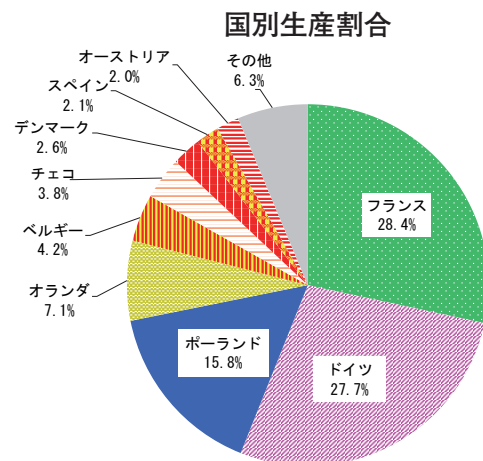
（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2025/26年度）（2025年9月時点）



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算。

注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向（2025年12月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha（前年度比2.1%増）
生産量：2893万トン（同0.2%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：391万トン（同2.0%増）
輸出量：293万トン（同1.0%増）

2025/26年度の砂糖生産量および輸出量は わずかな増加見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比2.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力確保に加え、前年度より生育に適した天候になるとの見通しから、2893万トン（同0.2%減）と前年度並みが見込まれている。一部地域では過湿による収穫遅延があったものの、7月の降水量が平年を大幅に下回ったことで収穫進^{しんちよく}度が加速し、11月末の収穫進捗率は95%台に到達

したとされる。

砂糖生産量は、CCS^{（注）}が収穫の進捗に伴い改善され、現在は前年度を上回る状況であることやサトウキビ増産と製糖工場の順調な稼働状況から、391万トン（同2.0%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、293万トン（同1.0%増）とわずかな増加が見込まれている。

（注）Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

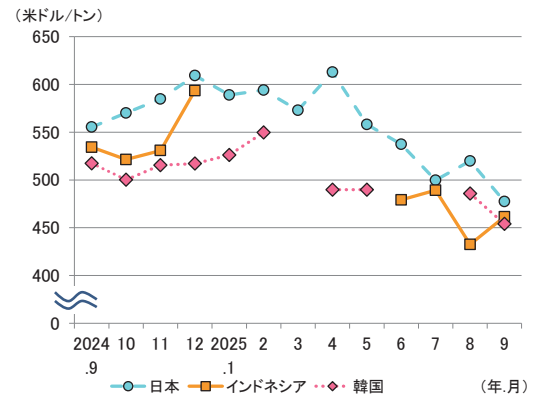
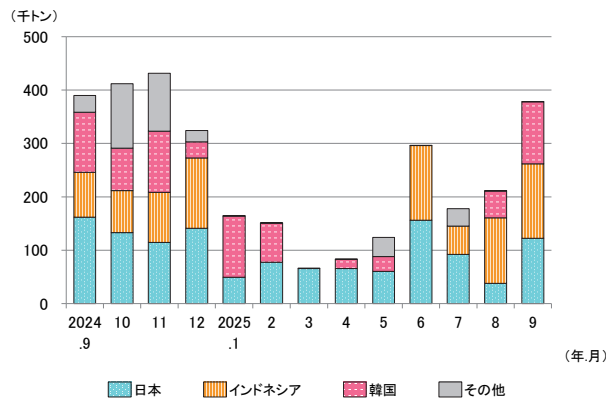
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （11月予測）	2025/26 （12月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		331	341	331	345	338	2.1
サトウキビ生産量		32,593	29,274	28,975	29,641	28,930	▲ 0.2
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,837	4,096	3,914	2.0
	輸入量	8	10	14	12	12	▲ 16.8
	消費量	996	997	999	1,001	1,001	0.2
	輸出量	3,292	3,700	2,896	3,107	2,925	1.0
	期末在庫量	987	427	384	327	384	0.0
期末在庫率		23.0	9.1	9.8	7.9	9.8	0.1ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移
輸入量 輸入価格（CIF価格）



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。
 注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。
 その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。
 ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。
 注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。
 注4：韓国の25年3月、6月、7月の輸入量は実績なし。
 注5：インドネシアの25年1月、2月、3月、4月、5月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha（前年度比2.2%増）
生産量：9530万トン（同3.5%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1118万トン（同5.7%増）
輸出量：887万トン（同30.5%増）

2025/26年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール（前年度比2.2%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一部地域で集中豪雨に見舞われたものの、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に働くことで、9530万トン（同3.5%増）とやや増加が見込まれている。しかし、好調な収穫が見込まれるため、25/26年度のサトウキビの最低取引価格の期首価格は1トン当たり890バーツ（4388円^{（注1）}、同23.2%安）と大幅な下落となった。現地報道では、生産コストの上昇を相殺する政府補助金などがない場合、キャッサバの方がサトウキビより収益性が高いと判断され、キャッサバへの切り替えが進むとい

う見方もある。

砂糖生産量は、サトウキビ増産により、1118万トン（同5.7%増）とやや増加が見込まれている。しかし、集中豪雨による局地的な洪水の発生による製糖開始の遅れや東北部で白葉病^{（注2）}の発生により、前月予測から下方修正された。砂糖輸出量は、ブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に887万トン（同30.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注1）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の2025年11月末TTS相場の1バーツ＝4.93円を使用。

（注2）植物寄生性の細菌であるファイトプラズマにより引き起こされる病害。感染後は葉が白化し、枯死する。伝播経路は感染した種茎と媒介虫（ヨコバイ類）が知られている。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (11月予測)	2025/26 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,514	1,475	1,541	1,574	1,574	2.2
サトウキビ生産量	93,888	82,167	92,043	97,500	95,300	3.5
砂糖	生産量	11,688	9,315	11,428	11,182	5.7
	輸入量	282	249	100	40	▲ 89.1
	消費量	3,348	3,186	3,238	3,238	0.5
	輸出量	8,002	5,888	6,798	8,874	30.5
	期末在庫量	2,591	3,080	4,007	3,118	▲ 22.2
	期末在庫率	22.8	33.9	40.0	25.1	25.7
						14.3ポイント減

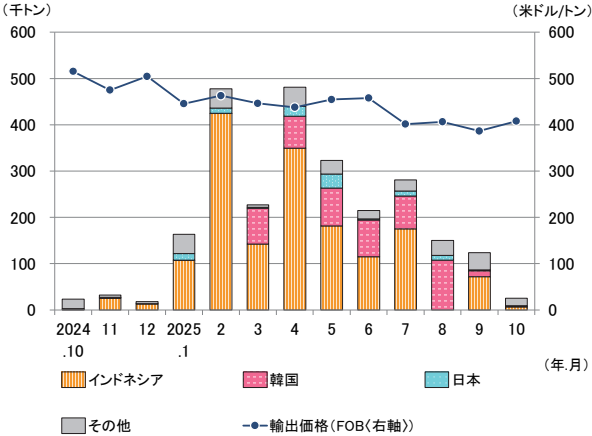
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

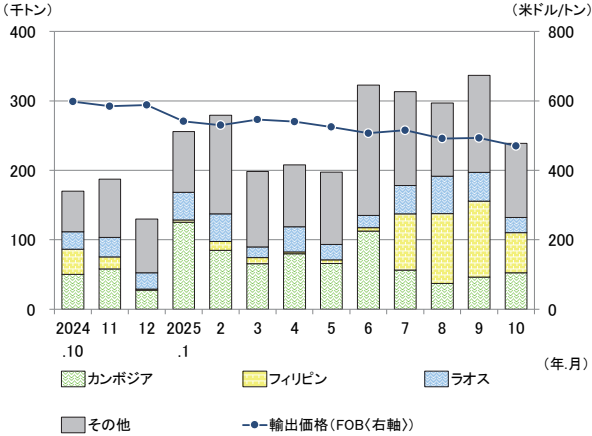
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。